

第10期計画の策定に向けた 市民調査について

令和7年度第2回摂津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進審議会

令和7年11月21日

高齢者アンケート調査の実施について

- 令和9年度から令和11年度までを期間とする第10期せつつ高齢者かがやきプランの策定に向けて、下記の2種類の市民調査を実施
 - ①高齢者の保健福祉に関するアンケート調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）
 - ②高齢者の在宅介護に関するアンケート調査（在宅介護実態調査）

【認知症施策推進基本計画策定】

- 国は、「認知症の人が住み慣れた地域で希望を持って自分らしく暮らし続けることができる地域づくり」を実現するため、令和6年12月に 認知症施策推進基本計画 を策定し、各自治体にも地域の実情に応じた計画策定を求めている。
- 摂津市では、第10期せつつ高齢者かがやきプランに認知症施策推進基本計画を包含して策定することを予定している。
- そのため、国の重点目標に沿って本市として認知症施策の進捗を評価できるよう、本調査にて認知症に関する設問を追加している。

高齢者アンケート調査の実施について

①高齢者の保健福祉に関するアンケート（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

<調査の目的>

- ・ 要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加の状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定することを目的とする。

<調査実施詳細>

対象者：50歳以上の要介護認定を受けていない方2,000人

（市内在住の65歳以上の高齢者：1,500人、市内在住の50歳から64歳の人：500人）

調査方法：郵送またはインターネットにて回答

※インターネット回答は、今回から新たに追加

設問数（予定）：回答者の情報（居住地域や年齢等）4問、国項目44問、市独自項目44問

※国項目は国の指針上、設問の文言や選択肢の変更は不可。

参考：前回調査票回収率1,309件（回収率65.5%）、前回設問数83問

高齢者アンケート調査の実施について

①高齢者の保健福祉に関するアンケート（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

<調査の内容>

- 国の設問として、からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域での活動、たすけあい、健康などに関する項目。
- 市独自設問として、聴力（聞こえ）について、日常生活の行動範囲について、認知症支援について、人生会議について、住まいについてに関する項目など。

<調査の特徴>

- 調査結果を「見える化システム」へ登録することで、同規模保険者と比較や経年変化の分析が可能
- 高齢者の生活実態、介護予防の取組状況、身体状態（運動機能、口腔機能等）などを圏域ごとや地域ごとに把握可能

高齢者アンケート調査の実施について

②高齢者の在宅介護に関するアンケート調査（在宅介護実態調査）

<調査の目的>

- ・「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的とする。

<調査実施詳細>

対象者：要支援・要介護認定を受けている1,200人

調査方法：郵送またはインターネットにて回答

※インターネット回答は、今回から新たに追加

設問数（予定）：国項目20問、市独自項目24問

※国項目は国の指針上、設問の文言や選択肢の変更は不可

- ・参考：前回調査票回収率734件（回収率61.2%）、前回設問数35問

高齢者アンケート調査の実施について

②高齢者の在宅介護に関するアンケート調査（在宅介護実態調査）

<調査内容>

- ・ 国項目の設問として、介護の状況、介護をしている家族等の状況、介護と仕事の両立、在宅生活の継続に必要な支援などに関する項目
- ・ 市独自項目の設問として、経済状況について、生活の行動範囲について、介護保険サービス利用状況、災害時の対応について、認知症支援についてなどに関する項目

<調査の特徴>

- ・ 調査結果を「見える化システム」へ登録することで、要介護認定データと調査結果を組み合わせた分析や、同規模保険者との比較、経年変化の把握が可能

高齢者アンケート調査の実施について

<調査スケジュール>

- 調査期間（予定）：令和7年12月下旬から令和8年1月下旬までを想定
- 調査結果のご提示（予定）：3月に実施予定の第3回審議会で提示

<調査項目の主な変更点>

- 調査項目の主な追加・変更については、資料2「アンケート調査項目の新規追加及び変更について」を参照